

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	電気回路第一演習		
英文授業科目名	Exercises in Electrical Circuit Theory I		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	電子工学科		
担当教官名	中野 和司		
居室	西2-323		

公開E-Mail	授業関連Webページ
nakano@ee.uec.ac.jp	http://www.ljung.ee.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>「電気回路第一」の講義内容の理解をより深めるために、演習授業を並行して行う。基本的な回路の解析およびその動作を理解するとともに、幅広い応用力を身につけることを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>線形代数学第一，線形代数学第二，微分積分学第一，微分積分学第二，電気数学第一，電気数学第一演習</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>代数，微分・積分学、電気数学などの基礎的な数学</p>

【教科書等】
<p>教科書：「電気回路」鎌倉，上 著（培風館） 参考書：「基礎電気回路 1・2」末武 国弘 著（培風館），「電気回路を理解する」小澤 孝夫 著（昭晃堂）</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

「電気回路第一」で行う講義の項目内容に関連した例題の解説や解析例を提示する。類似の問題解答をもとに、与えられた演習課題についての解答を作成し、レポートとして提出する。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

最低、演習時間（90分/週）に相当する時間数を予習に当てること。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

授業中に行う小テストおよび配布する演習問題に対する提出レポート内容に基づいて評価を行う。また、出席状況や「電気回路第一」の成績なども加味して、次のように総合評価する。

$$\text{成績評価} = (\text{提出レポートの評価点} \times 70\%) + (\text{期末試験の評価点} \times 30\%)$$

(b) 評価基準：

下記事項の60%到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・ 講義内容に関連した例題の理解ができる
- ・ 具体的な演習課題の解答ができる

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。演習がある曜日は予約無しでよい（それ以外は、電子メールにより予約したほうがよい）。また、演習時間中を積極的に活用してもらいたい。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【学生へのメッセージ】

基本的な課題を自習し，具体的な回路の解析に活用できるようにする努力が大切です。
なお，2単位に相当する予習・復習は必要です。

【その他】

講義と同様に，真剣に取り組んでもらいたい。
してもらいたい